

2018.11.13
第一次署名集約

17,838筆
12月20日に第一次提出・交渉

「放射線のホント」の撤回を求める 全国署名を拡げよう!



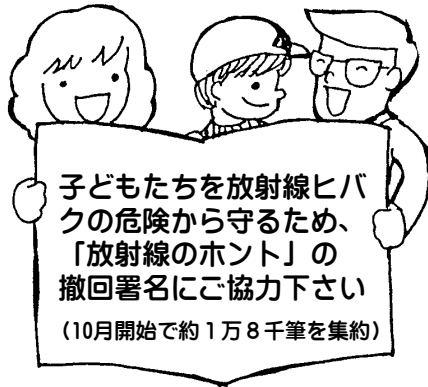
「福島の放射能汚染地で
放射線を少々浴びても大丈夫!!」
「復興は進んでいますよ!!」

という復興庁のウソ宣伝は、許されません!

原発事故による
放射線被ばくは
命と健康を脅かす

子どもや妊婦
(胎児)への影響は
もっと深刻

「福島復興」とは名ばかり、
空間線量は依然高く、避難者は切り捨て



東京電力はALPS (多核種除去設備) 処理水
100万トン薄めて海洋投棄の方針!
だが、その85%がストロンチウム90や
ヨウ素129が高濃度に含まれることを
隠していた!

原子力規制委員会はモニタ
リングポスト撤去方針! だが、
福島県住民は猛反対!

ここまで来た「安倍政権
によるヒバク強要」

復興推進会議・原子力
災害対策本部会議合同
会合(2018.3.9)での安
倍首相発言「関係閣僚
におかれては、さらなる
風評払拭に向け、昨年
12月に策定した『風評払
拭・リスクコミュニケーション
強化戦略』に基づき、
放射線に関する正確な
情報等を効果的に発信
するよう、政府一体とな
り、工夫を凝らして取り
組んでください。」



復興庁に続き、文部科学省も10月1日、「放射線副読本」を改訂し、復興庁「放射線のホント」の中身を学校教育に持ち込もうとしています。
安倍内閣による政府一体となった「被ばく強要による福島切り捨て」は許せません!

「モニタリングポスト撤去」や「ALPS処理水海洋投棄」の動きはこの一環です。「放射線のホント」撤回署名をさらに広げて、これらすべてを撤回させましょう!

署名集約先: ヒバク反対キャンペーン
(〒666-0115 兵庫県川西市向陽台1-2-15 建部連)
第二次集約2019年1月31日、第三次集約2019年3月31日

若狭連帯行動ネットワーク

大阪連絡先 ● 〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保きよ子 TEL072-939-5660
dpmnz005@kawachi.zaq.ne.jp ● 若狭ネット資料室(長沢室長): 〒591-8005 堺市北区
新堀町2丁126-6-105 TEL072-269-4561 ngsw@oboe.ocn.ne.jp